

学院の歩み

青山学院は、
米国のメソジスト監督教会が
日本に派遣した宣教師によって創設された
3つの学校をその源流とし、
136年の歴史を有する
伝統のある学校の一つです。
やがて女子系と男子系の学校が合同し、
現在の青山学院の土台が作られたのは1927年。
キリスト教信仰にもとづく教育を堅持し、
数々の苦難を乗り越え
現在では、幼稚園から大学・大学院までを擁する
総合学園となりました。



美會神学校校舎
1879(明治12)年

再建された海岸女学校校舎
1881(明治14)年



東京英和学校神学校校舎
(フィランダー・スミス・
ピリカル・インスティテュート)
1886(明治19)年

ガウチャー・ホール
1887(明治20)年



学生による青山学院福音伝道隊
1901(明治34)年

ジョン・F・ガウチャー来校
1914(大正3)年



1921(大正10)年頃の青山キャンパス全景
左から、新ガウチャー・ホール、大講堂(弘道館)、神学部校舎、勝田ホール

プロローグ 宣教のおとずれ —1873(明治6)年

- 1549(天文18)年●フランシスコ・ザビエル 日本にキリスト教を伝える
- 1612(慶長17)年●徳川家康 禁教令を出す
- 1639(寛永16)年●鎖国令
- 1853(嘉永 6)年●ペリー 浦賀に来航、開国を迫る
- 1854(嘉永 7)年●日米和親条約締結
- 1873(明治 6)年●キリスト教禁制の高札撤廃
●横浜に米国メソジスト監督教会日本宣教師設立



「女子小学校」創立者
ドーラ・E・スクーンメーカー



「耕教学舎」創立者
ジュリアス・ソーパー



「美會神学校」創立者
ロバート・S・マクレイ

建学の礎石 1874(明治7)年—1882(明治15)年

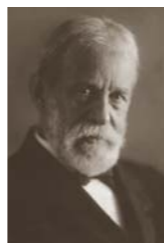
- 1874(明治 7)年●ドーラ・E・スクーンメーカー、津田仙の助力を得て
「女子小学校」を麻布に開校
- 1875(明治 8)年●「女子小学校」を「救世学校」と改称
- 1877(明治10)年●「救世学校」を築地明石町に移転し「海岸女学校」と改称
- 1878(明治11)年●ジュリアス・ソーパー「耕教学舎」を築地に開校
- 1879(明治12)年●ロバート・S・マクレイ「美會神学校」を横浜に開校
- 1881(明治14)年●「耕教学舎」を「東京英学校」と改称
- 1882(明治15)年●「美會神学校」を「東京英学校」に合同



創立期の功労者
津田 仙

青山の地に 1883(明治16)年—1900(明治33)年

- 1883(明治16)年●ジョン・F・ガウチャーの寄付により青山に土地を購入、
「東京英学校」を移転し「東京英和学校」と改称
- 1888(明治21)年●「海岸女学校」の上級生を青山に移し、「東京英和女学校」として開校
- 1890(明治23)年●エラ・M・ブラックストック「海岸女学校」に手芸教室開室、翌年職業部、
後に東京英和女学校手芸部となる
- 1893(明治26)年●「海岸女学校」に幼稚園を開園
- 1894(明治27)年●「東京英和学校」を「青山学院」と改称
●神学部、普通部(高等普通学部・英語師範科・予備学部)を置く
●「海岸女学校」を閉鎖し、「東京英和女学校」に合同
- 1895(明治28)年●「東京英和女学校」を「青山女学院」と改称、
普通学部(高等科・予備科・普通科)、
手芸部、幼稚園(1899年閉園)を置く
- 1899(明治32)年●青山女学院手芸部は独立し、
「青山女子手芸学校」となる(1914年青山女学院に合同)
- 1900(明治33)年●青山女学院同窓会発足(1902年青山女学院校友会と改称)



ジョン・F・ガウチャー
6万ドルを超える私財を献
じて、青山学院を援助

青山学院と 青山女学院 1901(明治34)年—1926(大正15・昭和元年)

- 1902(明治35)年●青山学院校友会創立
- 1904(明治37)年●青山学院高等科・神学部は専門学校の認可を受ける
●青山女学院英文専門科は専門学校の認可を受ける
- 1923(大正12)年●関東大震災により、
青山学院・青山女学院の建物諸施設大破

昭和の激動 1927(昭和2)年—1945(昭和20)年

- 1927(昭和 2)年●「青山女学院」を「青山学院」に合同
(「青山学院」は神学部、高等学部、中学部、高等女学部[専攻科・本科]を置く)
- 1933(昭和 8)年●高等女学部専攻科(家政科)は専門学校として認可され、女子専門部(家政科)と改称
- 1937(昭和12)年●青山学院小学財団設立、「青山学院緑岡小学校・同幼稚園」(1944年に閉園)開校
- 1941(昭和16)年●宣教師に米国メソジスト教会より帰還命令が出される
●「青山学院緑岡小学校」を「青山学院緑岡初等学校」に改称
- 1943(昭和18)年●神学部閉鎖(明治学院神学部と共に日本東部神学校を創設)
- 1944(昭和19)年●専門部(文学部、高等商業学部)を閉鎖し、明治学院に合同
●「青山学院工業専門学校」を開校
- 1945(昭和20)年●空襲により校舎・諸施設の大半罹災

戦後の復興 1946(昭和21)年—1959(昭和34)年

- 1946(昭和21)年●青山学院工業専門学校を「青山学院専門学校」と改称
●女子専門部を「青山学院女子専門学校」と改称
●青山学院小学財団を「青山学院」に合併し、
「青山学院緑岡初等学校」を「青山学院初等部」と改称
●米国メソジスト教会より、宣教師再び日本に派遣される
- 1947(昭和22)年●新学制による「青山学院中等部」開校
●青山学院専門学校横須賀分校開校(1949年大学工学部となる)
- 1949(昭和24)年●新制大学として「青山学院大学」を開校
(文学部、商学部、工学部[翌年関東学院大学に合同]を置く)
- 1950(昭和25)年●大学文学部と商学部を第二部を設置
「青山学院女子短期大学」を開校(家政科、文科[英文専攻・国文専攻]を置く)
(その後、児童教育学科、教養学科、芸術学科を順次設置)
●「青山学院高等部」(男女共学)開校
- 1951(昭和26)年●「財団法人青山学院」を「学校法人青山学院」に組織変更
- 1952(昭和27)年●大学院文学研究科、商学研究科(1958年経済学研究科に改組)を設置
(その後法学、理工学、経営学、国際政治経済学等各研究科を順次設置)
- 1953(昭和28)年●大学商学部を経済学部へ改組
- 1956(昭和31)年●青山女学院校友会を青山学院校友会に合同
- 1959(昭和34)年●大学法学部を設置

試練を越えて 1960(昭和35)年—2002(平成14)年

- 1961(昭和36)年●「青山学院幼稚園」開園
- 1964(昭和39)年●「青山学院教育方針」発表
- 1965(昭和40)年●大学廻沢キャンパス(1971年世田谷キャンパスに改称)を開学し、理工学部を置く
- 1966(昭和41)年●大学経営学部を設置
- 1977(昭和52)年●大学文学部神学科廃止
- 1982(昭和57)年●大学厚木キャンパスを開学し、主に第一部一般教養課程を教育
●大学国際政治経済学部を設置
- 1986(昭和61)年●「青山学院高中部」(中・高6年制一貫教育)発足
- 1991(平成 3)年●青山学院将来計画委員会設置
- 1998(平成10)年●青山学院第二次将来計画委員会設置

新たなる出発 2003(平成15)年—

- 2003(平成15)年●大学厚木キャンパス・世田谷キャンパスを閉じ、相模原キャンパス開学
●青山学院大学専門職大学院国際マネジメント研究科設置
- 2004(平成16)年●青山学院大学専門職大学院法務研究科設置
- 2005(平成17)年●青山学院大学専門職大学院会計プロフェッション研究科設置
- 2006(平成18)年●青山学院女子短期大学児童教育学科を子ども学科に改組
- 2008(平成20)年●大学総合文化政策学部・研究科、社会情報学部・研究科を設置
- 2009(平成21)年●大学教育人間科学部・研究科を設置



1932(昭和7)年頃の正門からの構内



緑岡小学校校舎
1937(昭和12)年



緑岡幼稚園 第1回卒業式
1938(昭和13)年



帰還命令により帰米するアイグルハート
先生の見送りに集まった教職員と学生
1941(昭和16)年



初等部英語の授業
1949(昭和24)年



中等部校舎
1949(昭和24)年



新制大学発足当時の正門
1950(昭和25)年



女子短期大学の授業
1955(昭和30)年



高等部北校舎
1959(昭和34)年



幼稚園舎献堂式
1962(昭和37)年



世田谷キャンパス正門
1965(昭和40)年



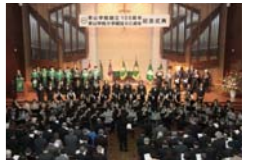
厚木キャンパス正門
1982(昭和57)年



相模原キャンパス開学
2003(平成15)年



初等部校舎完成
2007(平成19)年



創立135周年記念式典
2009(平成21)年